

慶應丸の内シティキャンパス せきがく

慶應MCC『夕学五十講』 ライブ配信講座 2015前期

せきがく

明石夕学サテライト

時代の潮流と深層を読み解く

【2015 前期 全 15 講演】

1	4/7.火	田村 次郎 慶應義塾大学法学部教授 「三方よし」の対話力～問題解決のための戦略的交渉学入門～
2	4/10.金	唐池 恒二 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 「夢みる力が「氣」をつくる」
3	4/14.火	ヤマザキマリ 漫画家 「辺境のない生き方」
4	4/17.金	山田 英夫 早稲田大学ビジネススクール 教授 「競争しない競争戦略 ～ 積極的な非競争のすすめ～」
5	5/12.火	五木 寛之 作家 「涙と笑い」※講演 90 分のみ、質疑応答はありません。
6	5/22.金	松本 晃 カルビー株式会社 代表取締役会長兼 CEO 「カルビーはどうやって変わったのか」
7	5/26.火	川村 元気 映画プロデューサー・小説家 「企画における“発見”と“発明”」
8	6/4.木	水野 和夫 日本大学国際関係学部 教授 「資本主義の終焉と歴史の危機」
9	6/9.火	千住 博 画家・京都造形芸術大学教授 「日本の美、世界の美」
10	6/17.水	遠藤 功 早稲田大学ビジネススクール 教授・株式会社ローランド・バルガー会長 「現場力を鍛える ～「非凡な現場」をつくるために～」
11	6/22.月	山本 雄士 株式会社ミナケア 代表取締役 「投資型医療という社会イノベーション」
12	7/1.水	山下 洋輔 ジャズ・ピアニスト、国立音楽大学招聘教授 「魂の音楽 ジャズの魅力」
13	7/7.火	伊藤 元重 東京大学大学院経済学研究科 教授 「国際経済と日本の課題」
14	7/16.木	村木 厚子 厚生労働事務次官 「女性がいきいきと働く社会」
15	7/22.水	富山 和彦 株式会社経営共創基盤 代表取締役 CEO 「日本はローカル経済で甦る」



●開催時間

18:30～20:30
(開場 18:10)

●サテライト会場

明石市立産業交流センター
3F 情報ライブラリー
(JR大久保駅南口より西へ徒歩2分)

●定員 30名

●受講料 各回 1,000 円

*回数受講券(5枚 4,500 円)もあります。
ご希望の方は下記へお問合せください。

一般財団法人明石市産業振興財団

(明石市立産業交流センター内)

〒674-0068

明石市大久保町ゆりのき通1-4-7

TEL (078) 936-7917 *月曜休

FAX (078) 936-7916

URL: <http://www.aicc.or.jp>

E-Mail: info@aicc.or.jp

『明石夕学サテライト』とは

東京「慶應丸の内シティキャンパス」の定例講演会『夕学五十講』から
年間30講演を「明石市立産業交流センター」でライブ中継

- 学校法人慶應義塾の社会人教育機関である慶應丸の内シティキャンパスが運営。
- 東京・丸の内で開催する講演会『夕学五十講』を明石の地でリアルタイムに視聴できます。※講師は東京会場で講演します。
- 講師は、大学人はじめ企業人、文化人、ジャーナリスト等、各分野の第一線で活躍する方々です。
- 人生観、世界観、経営観、仕事観、社会観等について、最新の知見を得るための絶好の機会として多くの方々に活用されています。
- 90分間の講演と30分間の質疑応答(FAXで受付)で構成され、明石のサテライト会場からでも質問できます。※寄せられた質問の中から選定された場合に回答されます。
- 時刻18:30~20:30に開催し、お仕事帰りにも参加いただけます。

◆慶應 MCC (慶應丸の内シティキャンパス) は慶應義塾の100%子会社である(株)慶應学術事業会が運営する社会人教育機関として2001年に開設。◆「夕学五十講」は東京丸の内の丸ビルホールにて年間約50回開催する講演会。「夕方に学ぶ」「碩学」という言葉をかけた名称。

⇒ FAX : 078-936-7916 明石市産業振興財団 行

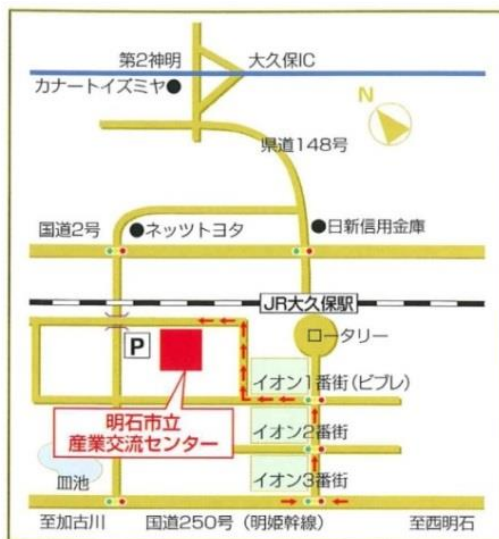
※ご記載いただいた個人情報につきましては、本セミナーの実施・運営に係る利用者の把握、名簿作成、その他財団が実施する講演会等の事業に関する情報提供の目的にのみ利用します。参加に関して連絡事項がある場合、ご連絡をいたします。

2015前期『明石夕学サテライト』受講申込書			
会社名			
住所: 〒 _____			
TEL	自宅	FAX	
	携帯		
Mail			
ふりがな:	部署・役職	年齢	性別
氏名:			男性 女性

【申込講座】 *受講を希望する講座に○をご記入ください。

*申込締切日以降も残席があれば受付けます。

No.	開催日	講師	受講希望	申込締切日
1	4/7(火)	田村次朗		4/3(金)
2	4/10(金)	唐池恒二		4/7(火)
3	4/14(火)	ヤマザキマリ		4/10(金)
4	4/17(金)	山田英夫		4/14(火)
5	5/12(火)	五木寛之		5/8(金)
6	5/22(金)	松本晃		5/19(火)
7	5/26(火)	川村元気		5/22(金)
8	6/4(木)	水野和夫		6/2(火)
9	6/9(火)	千住博		6/5(金)
10	6/17(水)	遠藤功		6/12(金)
11	6/22(月)	山本雄士		6/18(木)
12	7/1(水)	山下洋輔		6/26(金)
13	7/7(火)	伊藤元重		7/3(金)
14	7/16(木)	村木厚子		7/14(火)
15	7/22(水)	富山和彦		7/17(金)
合計				



■会場：明石市立産業交流センター

明石市大久保町ゆりのき通1-4-7
(078)936-7917 ※月曜休
◎JR「大久保駅」南口より西へ徒歩2分
◎お車でお越しの方へ
駐車場有(施設西側・有料30分につき¥100)
(本セミナーご参加の方は1.5時間減免)

1. 4/7 (火) 「三方よし」の対話力～問題解決のための戦略的交渉学入門～

田村 次朗 慶應義塾大学法学部教授・ハーバード大学国際交渉学プログラム インターナショナル・アカデミック・アドバイザー
経験や駆け引きでは交渉力は向上しない。論理的思考、事前準備と信頼を以て「三方よし」の合意をめざす。国際交渉の現場にも詳しい田村教授が、当事者双方が利益を得る「win-win」に加えて、周囲の満足をも導く交渉の基本を事例も交えながら分かり易く解説する。

2. 4/10 (金) 「夢みる力が「氣」をつくる」

唐池 恒二 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長
これまでの鉄道会社の殻を打ち破り、新たなサービス、新型車両など新機軸を次々と打ち出してきたJR九州。数々のアイデアを打ち出し、改革へのリーダーシップを発揮してきた唐池会長に経営に対する考え方や生き方、働き方について持論を語っていただく。

3. 4/14 (火) 「辺境のない生き方」

ヤマザキマリ 漫画家
古代ローマと現代日本を縦横無尽に行き来する大胆な着想で大ヒットした漫画『テルマエ・ロマエ』の作者で、シリア、ポルトガル、アメリカを経て現在はイタリアに在住するヤマザキマリ氏。言語や文化の壁を乗り越えたクリエイティブな生き方に触れてみたい。

4. 4/17 (金) 「競争しない競争戦略～積極的な非競争のすすめ～」

山田 英夫 早稲田大学ビジネススクール 教授
如何にして競争に勝つかではなく、他者が追従できない状態を作り、高い利益率をあげるにはどうすればよいのか。競争戦略論の第一人者山田教授が数多くの企業事例を交えながら語る新たな戦略論に注目したい。

5. 5/12 (火) 「涙と笑い」

五木 寛之 作家
この数年で経済危機や東日本大震災、重なる政権交代を経験した我々の多くは言葉を知らずとも「暗愁」と向き合う日々を過ごしてきたのではないか。人とその心を見つめてきた五木氏が待望の再登壇。前回の「暗愁」に続き「涙と笑い」を演題に力強く生きる為のヒントを説く。※本講演は講演90分のみで20:00終了です。質疑応答はありません。

6. 5/22 (金) 「カルビーはどうやって変わったのか」

松本 晃 カルビー株式会社 代表取締役会長兼 CEO
日本人なら誰もが知る巨大スナック菓子メーカーの経営改革に挑んだ松本会長。徹底した製造原価低減と値下げ戦略の組み合わせで、営業利益率1%から10%へと劇的な改善に成功した。その改革プロセスを振り返る。

7. 5/26 (火) 「企画における“発見”と“発明”」

川村 元気 映画プロデューサー・小説家
まだ誰も踏み入っていない領域で題材を見つける。時代の先を読み、その世に受け入れられる作品を提案する。20代よりプロデューサー・クリエイターとして映画、小説や絵本と異なる分野からメガヒット作を世に送り出してきた川村氏の創造の源とエネルギーとに触れる。

- ・講演テーマ等は2015年4月1日現在の予定です。都合により変更となる場合があります。
- ・講師は東京会場で講演を行います。
- ・明石夕学サテライトはインターネット配信を使用した映像を視聴する講座です。天災等の場合、配信の中断、または当センターでの受信ができなくなることがありますので、予めご了承ください。
- ・お申し込み後、やむを得ずキャンセル・欠席される場合は、できるだけお早目にご連絡願います。

8. 6/4 (木) 「資本主義の終焉と歴史の危機」

水野 和夫 日本大学国際関係学部 教授

ピケティよりも早く資本主義の危機を提唱した水野教授。長期間のゼロ金利。バブルのツケをバブルで支払うような危険な循環。資本主義の死を思わせる状況に陥った世界経済は破綻から逃れることができるのか。はたして日本再生の処方箋はあるのか。指針を聞きたい。

9. 6/9 (火) 「日本の美、世界の美」

千住 博 画家・京都造形芸術大学教授

海外から見るとわかる良さがある。古来より自然と共に生き花鳥風月を愛でてきた文化から生まれた日本の美は世界の人々の目にはどう映っているのか。アート的一大集積地、ニューヨークにアトリエを構え創作活動を行う千住氏ならではの視点から芸術について語って頂く。

10. 6/17 (水) 「現場力を鍛える～「非凡な現場」をつくるために～」

遠藤 功 早稲田大学ビジネススクール 教授・株式会社ローランド・ベルガー 会長

卓越したビジョンや戦略も、それを実行する現場が弱ければ価値を生み出せない。現場が自らの意志で進化しようとする「現場力」の生みの親、遠藤教授が再登壇。競争優位をもたらす「非凡な現場」作りの重要性和日々知恵を絞り合い改善に取り組む現場の最新事例を紹介する。

11. 6/22 (月) 「投資型医療という社会イノベーション」

山本 雄士 株式会社ミナケア 代表取締役

少子高齢化による医療費増大が社会保障自体を脅かす現代日本。疾病の発病を未然に防ぎ、健康長寿と医療費削減につながる投資型医療とは？データ解析や健康管理プログラム等を組込んだ予防医療サービスを提供する山本氏が人と社会を元気にするヘルスケアについて解説する。

12. 7/1 (水) 「魂の音楽 ジャズの魅力」

山下 洋輔 ジャズ・ピアニスト 国立音楽大学招聘教授

アフリカの土着リズムを西洋楽器と演奏技に載せることで生まれ、アメリカの風土の中で発展してきたジャズ。人間国宝や和楽器との共演、燃えさかるピアノでの演奏など、様式に囚われない活動で知られる山下氏がピアノ演奏を交えながらジャズの魂とその魅力を語る。

13. 7/7 (火) 「国際経済と日本の課題」

伊藤 元重 東京大学大学院経済学研究科 教授

TPP や新興国投資、イノベーションなど、グローバル経済のうねりの中に浮かぶ様々な経済問題に対し我が国はどう舵をとるべきなのか。ニュース番組の解説でもお馴染みの伊藤教授が日本の抱える問題を整理し、対処法としての政策や外国との関係性を分かり易く解説する。

14. 7/16 (木) 「女性がいきいきと働く社会」

村木 厚子 厚生労働事務次官

女性登用の数値目標を設定した安倍政権だが、本当の意味で女性を活用できる社会とは？キャリア組として入省しながらお茶汲みや清掃も行い、子育てと両立しながら労働・福祉問題に取り組んできた村木事務次官が体験者の視点からその現在の課題と解決へのヒントを述べる。

15. 7/22 (水) 「日本はローカル経済で甦る」

富山 和彦 株式会社経営共創基盤 代表取締役 CEO

GDP と雇用の 7 割を占めるローカル経済こそ日本活性化のカギ。更に G(グローバル)と L(ローカル)の違いを理解すれば問題の実像と対策も見えてくる。41 社を支援した産業再生機構清算後も、民の立場で企業再生・支援に携わる富山氏が日本経済の再生に向けてエールを送る。